

Chance Challenge Change

～Stay Positive～

3年部だより

令和8年7月23日

第5号

「夏休み直前号」

◆はじめに：一学期を終えて

まぶしい日差しとともに、夏休みが近づいてまいりました。

4月のスタートから約4ヶ月、吉原北中学校の最高学年として、生徒たちは日々、自分自身と向き合い、仲間と共に確かな歩みを進めてきました。今回は、この一学期の間に見られた生徒たちの素晴らしい成長(Change)と、夏休みに向けての展望をお伝えいたします。

◆学年目標「Chance Challenge Change ～Stay Positive～」の歩み

4月の団結式において、私から学年目標として「Chance Challenge Change ～Stay Positive～」を掲げ、そこに込めた思いを話しました。

この4ヶ月間、生徒たちは「様々なChanceに気づき、勇気を出して何かにChallengeし、どうChangeしたか?」という問いに対し、それぞれの答えを見つけました。ある生徒は学習に、ある生徒は行事に、またある生徒は日常の何気ない人間関係の中で、自ら答えを出し、それを武器にしてきました。たとえ小さな一歩であっても、この「Chance Challenge Change ～Stay Positive～」を意識して行動できたことは、生徒にとって大きな成長があったはずです。

また、このChallengeを支える「Stay Positive」な雰囲気、生徒たち自身が作り上げていることにとても感心しています。あるクラスでは、誰かが否定的な言葉を発した際、「今の発言はStay Positiveではないよ」と、お互いに声を掛け合い、前向きな空気感を保とうとする姿が見られました。学年全体をPositiveにしようという高い意識が、随所に感じられた4ヶ月間でした。

Chance
Challenge
Change
—
Stay Positive

◆学びの質の向上と、自律した学習習慣

授業の様子を見ても、最高学年らしい深まりが感じられます。新しい人間関係の中でも、意欲的に学び、自身の考えを発信しようとする姿が印象的でした。特に、「誰一人取り残さない」という意識を一人ひとりが持ち、困っている仲間自然に声を掛け、共に高め合おうとする姿勢が見られました。

クラスによっては、「まず自分自身でじっくりと考えてから仲間と関わろう」というプロセスを大切にしており、思考の深さ対話のバランスが取れた、非常に質の高い学びが展開されています。

こうした学校での学びを定着させ、確かな力に変えていくためには、家庭での復習が欠かせません。現在取り組んでいる「IUPノート(自主学習ノート)」は、まさにそのための重要なツールです。夏休み中も、自ら課題を見つけ、取り組む習慣を継続できるよう、御家庭でも励ましの言葉を掛けていただければ幸いです。

◆リーダーたちの挑戦

最高学年としての自覚は、行事や生徒会活動を通じて大きく育ちました。

多くのリーダーたちが、学校全体を動かそうと様々な試みにChallengeしました。

<各専門委員会の Challenge>

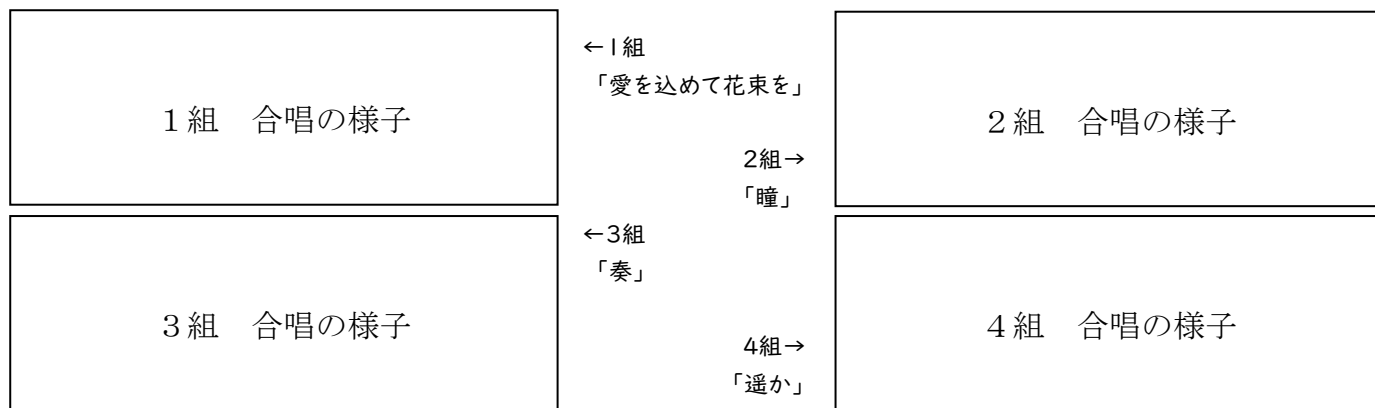
新たに始まった生活委員の「(授業内の)反応 UP キャンペーン」、健康委員の「熱中症対策キャンペーン」、広報委員の「朝日写真ニュースの紹介」や継続して取り組んでいる生徒会本部の「ランチチャットタイム」、そして環境委員の「身の回り整頓 DAY」、給食委員の「残食ゼロキャンペーン」、など、学校生活の向上のために工夫され、取り組んでいる様子が見事でした。さらに夏休み明けには図書委員の「ビブリオバトル」も企画されています。

<学年委員の Challenge>

学年委員は、修学旅行明けの学年全体の意識を「テスト勉強」へと切り替える「IUP ノートキャンペーン」を企画し、家庭学習への雰囲気高めると同時に、テストに向けた良い緊張感を作り出しました。

7月からは夏休み前の学校生活を見つめ直すために、時間を守るための「3・2・1キャンペーン」を企画しました。3分前に教室に入り、2分前に着席し、1分前に黙想をするようにし、学校生活のリズムを整えようとしていました。

ミニ合唱コンクールを企画し、そこに向けた取り組みでは、休み時間を惜しんで練習に励む姿が多くの人々の心を動かしました。授業参観等で来校された方から「学校内に合唱が響いていることが素晴らしいです。姿は見えないけれど、きっと素敵な生徒さんたちですね。」と褒めていただいたり、他学年の先生方から「ぜひ3年生の合唱を1年生や2年生に聞かせてほしい」と声を掛けていただいたりしました。このように3年生の合唱には人の心を動かすほどの大きなエネルギーを持っていました。



◆「あたたかさ」という武器

私は、日々の生活の中で生徒たちが放つ「あたたかさ」こそが、この学年の最大の武器だと考えています。修学旅行での「お宿いしちょう」の女将さんや卒業アルバムの写真を撮影している松山写真館さんから「あたたかい生徒さんたちですね」と褒めていただくことができました。また、私たち3年部の教員に対してもあたたかく声を掛けてくれる場面がたくさんありました。

仲間を思いやり、共に喜びを分かち合えるその感性を大切にしながら、これからの学校生活に繋がってほしいと考えています。

◆夏休みに向けて:さらなる成長を願って

明日から始まる夏休みも、生徒たちには「Chance」に敏感であり続けてほしいと思います。勇気を出して一歩踏み出す「Challenge」と継続で、休み明けに大きく「Change」した姿を見せてくれることを期待しています。

御家庭におかれましては、健康と安全に留意され、充実した時間をお過ごし下さい。8月25日(火)に、このメンバー全員が笑顔で揃うことを、3年部の教員一同、楽しみにしています。

この4ヶ月間、本校の教育活動への多大なる御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございました。引き続きよろしくお願いいたします。